

## ■市民ニーズの把握

### I 美術館建設に関するアンケート調査

川口市美術家協会会員や、市内在住者を対象に、美術館の利用動向等について調査を行った。

#### 1. 調査概要

調査対象および実施概要は、以下の通りである。

グループ	調査概要
A. 川口市美術家協会	調査対象： 川口市美術家協会会員 標本数： 321 人 標本抽出方法： 全数調査法 調査方法： 郵送配付・郵送回収法 調査期間： 平成 30 年 6 月 7 日（木）～6 月 25 日（月） 回収結果： 有効回収数 176、有効回収率 54.8%
B. 市内在住の男女に対する郵送調査	調査対象： 川口市内在住の満 18 歳以上の男女 標本数： 3,000 人 標本抽出方法： 住民基本台帳より無作為抽出 調査方法： 郵送配付・郵送回収法 調査期間： 平成 30 年 6 月 7 日（木）～6 月 25 日（月） 回収結果： 有効回収数 782、有効回収率 26.1%
C. 市内在住者に対する Web 調査	調査対象： 川口市情報配信サービス「きらり川口情報メール」イベント情報配信登録者 標本数： 4,249 人 標本抽出方法： なし（すべての登録者に送信） 調査方法： Web 調査 調査期間： 平成 30 年 6 月 11 日（月）～6 月 25 日（月） 回収結果： 有効回収数 367、有効回収率 8.6%

## 2. 調査結果のまとめ

市民意識調査で得られた主な意見は以下の通りである。

### (1) 調査対象A、B、Cに行った調査

#### 1. 川口市の文化的な環境の満足度

問1 あなたは、文化芸術を鑑賞したり習い事をする機会など、川口市の文化的な環境に満足していますか。(単数回答)

1. A・B・C区分とも、概ね6割が「どちらかといえば満足していない」もしくは「満足していない」を選択(以下、『満足していない(計)』とする)。(3p)
- 1-2. Aは、問5で美術の拠点施設が「あるほうがよい」もしくは「どちらかといえばあるほうがよい」を選択(以下、『美術の拠点施設があるほうがよい(計)』とする)した回答者のうち、約6割が『満足していない(計)』傾向にある。(5p)
- 1-3. Bと1-5. Cは、年齢が高くなるにつれ、満足していない傾向にある。(6、8p)
- 1-4. Bは、安行地区・鳩ヶ谷地区は約7割が『満足していない(計)』を選択。(7p)
- 1-6. Cは、戸塚地区は、『満足していない(計)』が多く、『満足している(計)』が少ない。中央地区・横曽根地区・青木地区は、他に比べ「満足している」が多い。『美術の拠点施設があるほうがよい(計)』を選択した場合、『満足していない(計)』の割合が高い。一方、美術の拠点施設は「なくてよい」もしくは「どちらかといえばなくてよい」を選択(以下、『美術の拠点施設はなくてよい(計)』とする)した回答者は、『満足している(計)』傾向にある。美術の拠点施設の整備について「どちらともいえない」を選択した場合は、『満足していない(計)』傾向がみられる。(9p)

#### 傾向・分析

- 1-① 文化的環境に対する満足度は、年齢が高くなるほど下がる。
- 1-② 文化的環境に対する満足度は、地域毎にばらつきが見られる。  
※安行・鳩ヶ谷地区などで、満足度が低い。
- 1-③ 現状の文化的環境に満足していない属性のほうが、美術の拠点施設の設置を望む割合が高い。

#### 2. 美術に係わる活動

問2 あなたはこの1年間に、美術を鑑賞したり美術に係わる活動をしましたか。(複数回答)

2. Aは、「美術館やギャラリーでの鑑賞」、「創作活動」、「自分の作品の展示・公開」、「公民館等での作品鑑賞」の順で高い。B・Cは、Aの2・3番目を抜き、2位に「書籍やインターネットでの鑑賞」が挙げられている。(10p)
- 2-1. Aは、「未就学児のいる／いない」での差異はあまりないが、「ワークショップへの参加」を選択したのは、「未就学児がいる」が高い。(11p)

- 2-3. Bは、18～29歳・30～39歳は「特に活動はしていない」の選択が約5割と高い。「美術館やギャラリーでの鑑賞」を選択したのは60～69歳、「公民館等での作品鑑賞」を選択したのは70～79歳が多数。鑑賞する場所への距離によるものか。Bであるにも関わらず「創作活動」を選択が7%は特筆すべき点である。(13p)
- 2-4. Bは、中央・青木地区は「美術館やギャラリーでの鑑賞」が高く、安行地区は「公民館等での作品鑑賞」を選択が高い。新郷地区は、他に比べ「特に活動はしていない」を選択が5割を越している。  
文化的な環境に『満足している(計)』を選択した回答者のうち多数が「特に活動はしていない」を選択している。文化的な環境に『満足していない(計)』を選択した回答者は、「美術館やギャラリーでの鑑賞」が多い。美術の拠点施設が『あるほうがよい(計)』を選択した回答者は、約5割が「美術館やギャラリーでの鑑賞」している。『なくてよい(計)』を選択した回答者は「特に活動はしていない」が約6割となり、「どちらともいえない」を選択した回答者に至っては、約7割が「特に活動はしていない」を選択する結果となった。(14p)
- 2-5. Cは、60～69歳は、「美術館やギャラリーでの鑑賞」が多く、「特に活動はしていない」を選択が少ない。  
未就学児の有無別では、「美術館やギャラリーでの鑑賞」と「特に活動はしていない」とで、選択者の割合に差が生じているが、他は同程度の割合を示している。“未就学児がいる”回答者は「特に活動していない」が多く、“未就学児がいない”回答者は「美術館やギャラリーでの鑑賞」が多い。(15p)
- 2-6. Cは、戸塚地区・鳩ヶ谷地区は「公民館等での作品鑑賞」が多い。しかし、地区に関わらず、「美術館やギャラリーでの鑑賞」は多い傾向にある。(16p)

### 傾向・分析

- 2-① 市内在住者の活動としては、「美術館やギャラリーでの鑑賞」「書籍やインターネットでの鑑賞」が多い。
- 2-② 「創作活動」を行っている市内在住者は約7%。
- 2-③ 未就学児がいる場合、美術に関わる活動への参加が低い。

## 3. 美術館へ行く頻度

(問2で「1. 美術館やギャラリーでの鑑賞」とお答えの方に)

- 問2-1 美術館やギャラリーへはどのくらいの頻度で行きましたか。(単数回答)
3. A・B・Cとも「半年に1回」が最も多いが、次いで多い結果となったのは、Aでは「月に1回以上」、B・Cでは、「1年に1回程度」に分かれた。
- 3-3. Bは、70～79歳は、「半年に1回以上」を選択し、他の年齢層に比べて美術館に行く頻度が高い。80歳以上は「月に1回以上」が多く、70～79歳・80歳以上は、「月に1回以上」と「半年に1回以上」併せた割合が高い。(20p)
- 3-4. Bは、中央地区・安行地区以外は、近しい傾向を示している。(21p)
- 3-5. Cは、50～59歳・60～69歳は、「月に1回以上」が多く、40～49歳は「半年に

1 回以上」が 6 割以上となった。(22 p)

3-6. C は、美術の拠点施設が『あるほうがよい (計)』は、「半年に 1 回以上」が多く、『なくてよい (計)』を選択は、「1 年に 1 回程度」が多数を占める。(23 p)

#### 傾向・分析

3-① 「半年に 1 回以上」が最も多い。特に 70 歳代では、7 割以上が半年に 1 回以上、美術館を利用する。

3-② 美術館の利用頻度に、地域毎の大きな違いは見られない。

#### 4. 美術館へ行く理由

(問 2 で「1. 美術館やギャラリーでの鑑賞」とお答えの方に)

問 2 - 2 美術館やギャラリーへ行くのは、どのような理由からですか。(複数回答)

4. 上位 2 つは、3 区分ともに大きな差はないが、C は、「子どもに美術に触れる機会を与えたいから」を選択が 3 割以上で高い。

B・C 共に「アートショップやカフェで楽しみたいから」の値が高い。付帯施設により集客効果が見込めることが想定される。(24 p)

4-3. B は、未就学児がいる回答者は、「子どもに美術に触れる機会を与えたいから」が多い。なお、30～39 歳の年齢層は、同様の傾向にあり、高年齢層に比べて主体的な意向や、参加体験を求める傾向がみられる。(27 p)

4-4. B は、「美術が好きだから」や「展示を観たいから」を選択する回答者ほど、文化的な環境に『満足していない (計)』傾向が強く、また、美術の拠点施設が『あるほうがよい (計)』を選択する傾向にある。(28 p)

4-5. C は、未就学児がいない回答者でも、「子どもに美術に触れる機会を与えたいから」を選択する傾向にあり、自身の活動内容如何に関わらず、美術館に対して子どもの美術体験を期待していると推測される。(29 p)

4-6. C は、美術の拠点施設は『なくてよい (計)』を選択しながらも、「子どもに美術に触れる機会を与えたいから」を選択する傾向があり、子どもの美術体験そのものへの要望によるものと推測される。(30 p)

#### 傾向・分析

4-① 「好きな作品や話題性のある展示を観たいから」「美術が好きだから」「家族や友人などに誘われたから」が多い。

4-② 未就学児がいる場合、子どもが美術に触れることを目的とする傾向がある。

4-③ 美術館のかたちにとらわれない子どもの美術体験が求められている。

## 5. 美術館へ行かない理由

(この1年間に美術館やギャラリーでの鑑賞をしなかった方に)

問3 あなたがこの1年間に美術館やギャラリーへ行かなかった理由は何ですか。(複数回答)

5. 3区分とも、「身近なところがないから」が最上位である。  
事業の評価にも関わる「見たい展示がないから」や「情報が分からないから」も多い。「身近なところがないから」を選択が多いことから、交通の利便性が美術館の利用に大きく作用していることがうかがえる。また、企画内容や情報発信の充実も利用に大きく影響するものと推測される。(31p)
- 5-1. Bは、「身近なところがないから」を選択が多いのは、18～29歳・80歳以上であり、高齢者でも利用しやすい利便性が求められていると推測される。  
「時間に余裕がないから」は中年年齢層が高く、働き世代であることから時間の確保が困難であることがうかがえる。従って、就業後や休日等の利便性を考慮した開館の在り方を検討する必要があるものと考えられる。(33p)
- 5-4. Bは、安行地区・鳩ヶ谷地区は「身近なところがないから」の選択が多い。市内での利便性や、都内からの交通アクセスの良さが求められていると推測される。文化的な環境に『満足していない(計)』を選択した回答者は、「身近なところがないから」や「情報が分からないから」などを選択している。(34p)
- 5-6. Cは、美術館に行かない理由として「興味がないから」を選択した回答者は、文化的な環境に『満足している(計)』傾向にあり、また、美術の拠点施設は『なくてよい(計)』を選択している。  
美術の拠点施設が『あるほうがよい(計)』を選択した回答者は、美術館に行かない理由として「身近なところがないから」が多い。(36p)

### 傾向・分析

- 5-① 交通の便の悪さや、情報に触れる機会の少なさが、美術館の利用を阻害している傾向が見られる。アクセスの良さや、効果的な情報発信が利用促進に繋がる可能性がある。

## 6. 美術に関する好きな作家や作品

問4 美術に関し、好きな作家や作品、ジャンル(例：絵画、彫刻、写真、映像、アニメなど)をご記入ください。(自由記述)

6. ジャンル別では、「絵画」、「写真」、「彫刻」、「アニメ」、「映像」の順である。  
作家別では、「モネ」、「ルノワール」、「ゴッホ」、「ピカソ」、「シャガール」と西洋画が上位を占める。「日本画」も全体では上位に位置するが、作家は「東山魁夷」のみが挙げられている。特徴的なものとして、「映像」(5位)や「ジブリ」(23位)などの数値が高い。(37p)

## 傾向・分析

6-①「絵画」や「写真」、「彫刻」に加え、「アニメ」、「映像」などの映像メディア表現への人気も高い。

## 7. 美術の拠点としての施設

問5 川口市には音楽の拠点としての施設「川口総合文化センター・リリア」がありますが、美術の拠点としての施設もあるほうがよいと思いますか。(単数回答)

7. 「あるほうがよい」もしくは「どちらかといえばあるほうがよい」を選択は、Aが83.0%、Bが55.5%、Cが65.7%である。なお、BとCでは、約2割の回答者が「なくてよい」もしくは「どちらかといえばなくてよい」を選択している。(38 p)
- 7-1. Aは、未就学児がいる回答者のうち約8割が、美術の拠点施設は「あるほうがよい」を選択している。(39 p)
- 7-2. Aは、文化的な環境に『満足していない(計)』回答者のうち約8割が、美術の拠点施設について「あるほうがよい」を選択している。(40 p)
- 7-3. Bは、18～29歳・80歳以上では、『あるほうがよい(計)』が多い。(41 p)
- 7-4. Bは、安行地区・芝地区は、『あるほうがよい(計)』が多い。中央地区は「なくてよい」が「あるほうがよい」を上回る。横曽根地区では、「あるほうがよい」と「なくてよい」とが近似値を示している。文化的な環境に『満足していない(計)』回答者のうち約4割が、美術の拠点施設は「あるほうがよい」と回答しており、『満足している(計)』回答者に比べて、高い割合を示している。(42 p)
- 7-5. Cは、30～39歳において、美術の拠点施設は「なくてよい」を選択が多い結果となり、注視すべき点といえる。また、未就学児の有無別では、「なくてよい」の割合に差がみられる。(43 p)

## 傾向・分析

7-① 半数以上の市民から、美術の拠点施設の整備が求められている。

## 8. 美術館建設の影響

問6 川口市内に美術館をつくる場合、あなたも含め、市民の意識や活動はどのように変化し、まちにどのような影響があると考えますか。(回答の選択は3つまで)

8. 3区分ともに、最上位は「文化・芸術への関心の高まり、感性が豊かになる」となった。2位以下では、Aは、「優れた寄贈作品などを多くの市民が鑑賞できる」「中核市としてふさわしい文化度が上がる」が多く、B・Cは、「子どもの情操が育まれ、健全な育成が促進される」が多い。なお、「市の財政的な負担が増え、市民生活に影響がある」を選択した回答者の割合は、Aに比べてBとCで高い値を示している。(45 p)

- 8-1. Aは、未就学児の有無別では、未就学児がいる回答者では「趣味や職業としての創作活動が盛んになる」を選択が多く、美術館建設が創作環境の充実につながると認識されていると推測される。未就学児はいない回答者では、「子どもの情操が生まれ、健全な育成が促進される」を選択した回答者の割合が、未就学児がいる回答者よりも高く、子育て中か否かにかかわらず、次世代の育成に効果があると認識されていると推測できる。(46 p)
- 8-2. Aは、文化的な環境に『満足していない(計)』回答者は、「中核市としてふさわしい文化度が上がる」を選択する割合が高い。また、『満足していない(計)』回答者は、『満足している(計)』回答者よりも、「観光や経済活動が活発になる」を選択する割合が高い結果となった。(47 p)
- 8-3. Bは「子どもの情操が生まれ、健全な育成が促進される」を選択は、若い年齢層に多く、特に40～49歳が顕著に高い。  
未就学児の有無別では、「子どもの情操が生まれ、健全な育成が促進される」と「市の財政的な負担が増え、市民生活に影響がある」において差がみられ、ともに未就学児がいる回答者の選択が多い。(48 p)
- 8-4. Bは、美術の拠点施設は『なくてよい(計)』を選択した回答者は、「市の財政的な負担が増え、市民生活に影響がある」が最も多く、次に、「何も変わらない」が多い。また、「どちらともいえない」を選択した回答者においても、「市の財政的な負担が増え、市民生活に影響がある」や「何も変わらない」の割合が少なくない。(50 p)
- 8-5. Cは、60～69歳において、「文化・芸術への関心の高まり、感性が豊かになる」、「優れた寄贈作品などを多くの市民が鑑賞できる」への期待が高い。なお、30～39歳は、「文化・芸術への関心の高まり、感性が豊かになる」よりも、「子どもの情操が生まれ、健全な育成が促進される」ことへの影響を強く認識している。(51 p)
- 8-6. Cは、文化的な環境に『満足していない(計)』回答者は、「文化・芸術への関心の高まり、感性が豊かになる」と認識している。  
美術の拠点施設が『あるほうがよい(計)』を選択した回答者は、「文化・芸術への関心の高まり、感性が豊かになる」や「子どもの情操が生まれ、健全な育成が促進される」と認識している。「どちらともいえない」を選択した回答者では、「市の財政的な負担が増え、市民生活に影響がある」が多いが、「優れた寄贈作品などを多くの市民が鑑賞できる」や「子どもの情操が生まれ、健全な育成が促進される」も少なくない。(53 p)

### 傾向・分析

- 8-① 「文化・芸術への関心の高まり、感性が豊かになる」が最も多い。文化・芸術に対する市民意識の向上に効果があると認識されている。
- 8-② 未就学児がいる場合、子どもの情操教育の促進に効果があると認識されている。
- 8-③ 美術館建設により文化振興に効果があると認識されているが、市の財政への負担が懸念されている。

## 9. 美術館建設で重視すべき事柄

問7 川口市内に美術館の建設を検討する場合、どのような事柄を重視すべきと考えますか。(回答の選択は3つまで)

9. 「交通の利便性」や「展示・収蔵品の内容」については、3区分とも重視している。(54p)  
しかし、40代以下を中心に「入館・利用料金」を重視する傾向が見られる。(55p、57p、59p)
- 9-1. Aは、未就学児がいる回答者は、「周辺環境」を重視し、未就学児がいない回答者は「広さ・空間」を重視している。(55p)  
Aは、文化的な環境に『満足していない(計)』回答者は、「交通の利便性」に次いで「展示・収蔵品の内容」を選択が多い。(56p)
- 9-3. Bは、50歳代を境に傾向が二分しており、50歳代以下は、「入館・利用料金」を重視する傾向にあり、50歳代以上は、「交通の利便性」「展示・収蔵品の内容」を重視する傾向にある。(57p)
- 9-4. Bは、地区別では、「交通の利便性」を選択した回答者が多いのは安行地区、「経済効果」を選択した回答者が多いのは中央地区、「地域性(川口らしさ)」を選択した回答者が多いのは安行地区、「周辺環境」を選択した回答者が多いのは青木地区という特長が見られる。  
美術の拠点施設は『なくてよい(計)』を選択した回答者は、「採算性」を最重視しており、「経済効果」も高い数値となっている。(58p)
- 9-5. Cは、A・Bに比べ「採算性」が多い。(59p)
- 9-6. Cは、芝地区は、「地域性(川口らしさ)」を重視している。  
美術の拠点施設について「どちらともいえない」を選択した回答者は、「展示・収蔵品の内容」や「交通の利便性」を重視している。美術の拠点施設は『なくてよい(計)』を選択した回答者は、「採算性」・「入館・利用料金」・「経済効果」といった収益性に関する選択が多い。また、「交通の利便性」は総じて高い。(60p)

### 傾向・分析

- 9-① 全体的にアクセスの良さを重視する傾向にある。
- 9-② 文化的な環境に満足している人よりも、満足していない人の方が、展示・収蔵品を重視すべきと回答する傾向に有り、美術館整備において展示内容やコレクションの充実への期待が高いことが推測される。



## 10. 国内の好きな美術館

問8 国内で、好きな（行ったことのある）美術館や行ってみたい美術館がありましたら、名称と理由をご記入ください。（自由記述）

10. 「国立西洋美術館」、「国立新美術館」、「足立美術館」、「東京都美術館」の順である。その理由は、国立西洋美術館は「有名な作品が鑑賞できる」、「交通の便がよい」などが挙げられ、国立新美術館は「建物のデザインがよい」、「空間が広い」など、足立美術館は「庭園が美しい」、東京都美術館は「企画展がよく、利便性もよい」などが挙げられている。（61p）

### 傾向・分析

- 10-① 魅力的な企画展がいつも行われている施設（「国立西洋美術館」、「国立新美術館」、「東京都美術館」）に加えて、美しい庭園を備えた施設（「足立美術館」）も評価されている。充実した鑑賞体験以外の魅力の創出が、利用促進に繋がることがうかがえる。

## (2) 調査対象A（美術家協会会員）にのみ行った調査

### 11. 主な創作分野

問9 主な創作分野は何ですか。(回答の選択は2つまで)

11. 「洋画」が最も多く、次いで「工芸」「書」「写真」が多い。(62p)
- 11-1. Aは、各分野とも文化的な環境に『満足していない(計)』が『満足している(計)』を上回り、特に、「書」「洋画」「日本画」でその差が顕著である。(64p)

#### 傾向・分析

- 11-① 美術家協会会員では、「洋画」の制作する美術家が多い。
- 11-② 美術家協会会員のうち「工芸」「書」「日本画」を制作する作家は、市内の文化的環境に対する満足度が低い。

### 12. 作品の主な発表場所

問10 作品の主な発表の場所はどこですか。(回答の選択は2つまで)

12. 「リリア」や「アトリア」が設置されている中央地区・青木地区では、「市外の美術館」も選択が多い。加えて、中央地区や芝地区では、「アトリア」を選択よりも「市外の美術館」を選択が高い数値である。
- 文化的な環境に『満足していない(計)』回答者は、『満足している(計)』回答者よりも、「市外の美術館」を選択が多い。(67p)

#### 傾向・分析

- 12-① 美術家協会会員では、「リリア」や「アトリア」が主な発表の場となっている。
- 12-② 美術家協会会員においては、市内の文化的な環境を整備することが、市内での発表促進につながる可能性がある。

### 13. 美術活動を行う課題

問11 市内で美術活動を行う上での課題は何ですか。(単数回答)

13. 「創作の場が足りない」、「発表の場が足りない」、「人材を育てる場が足りない」の順に高い。(68p)
- 13-1. 「その他」の課題として、「市民等の美術活動への関心の低さ」や「技術を向上する機会の少なさ」、「市内で活動する作家の高齢化」、「市内で活動する作家の交流機会の不足」などが挙げられた。
- 13-2. 文化的な環境に『満足している(計)』回答者は、「その他」が多い。文化的な環境に『満足していない(計)』回答者は、「創作活動の場が足りない」や「発表の場が足りない」を選択が多い。(70p)

## 傾向・分析

13-① 美術家協会会員は、「創作活動の場」、「発表の場」、「人材を育てる場」とともに、「市内で活動する作家の交流機会」の不足を感じている。

## 14. 川口にふさわしい美術館

問 12 川口にふさわしい美術館はどのようなものと考えますか。できるだけ具体的にイメージをご記入ください。(自由記述)

### ①主な意見

自由記述のなかで、特に出現頻度の高い単語を掲出数とともに示す。

交通の便がいい、利便性がある、駅近・駅周辺など	21
自然や緑の多い、感じられるなど	15
铸物を活用するなど	10
家族で訪れる、子どもが楽しめるなど	10
親しみやすさ	10
川口ゆかり、川口在住など	10
気軽に入れるなど	7
憩い、やすらぎ、ゆったり感じられるなど	6
地域性を取り込んだなど	5
歴史を(も)学べる	4
独自・特長のある、他と違うスタンス、他には類のない	4

### ②その他の意見

自由記述のうち、その他の特徴的なものを示す。

- ◆ 伝統や地域性を重視しすぎると若年層の関心は遠のく
- ◆ コミックやアニメなどと、古典的、伝統的な美術とのハイブリッド型美術館
- ◆ 夜間の開館
- ◆ 国宝級が展示できる条件を備える
- ◆ 建物のデザイン(安藤忠雄・黒川紀章)
- ◆ 宇宙のイメージ
- ◆ 田舎でも都会でもないサブタウン
- ◆ 非現実的
- ◆ 中途半端でないもの
- ◆ 川口居住作家の発掘・育成・顕彰、文化芸術家が住む中核市
- ◆ 埼玉の表玄関
- ◆ 川口の美術館に行ったらあの作品に出会える
- ◆ 誰もが鑑賞したくなるような美術館

## 傾向・分析

- 14-① 美術家協会会員からは、駅に近いなどの「交通の利便性」や、「自然を感じられる」など立地環境に関する意見が多い。
- 14-② 美術家協会会員では、「鋳物」、「川口ゆかり」、「地域性を取り込んだ」、「歴史を学べる」など、川口の歴史や文化との関わりを重視する、活動のテーマやジャンルに関する意見や、「家族で訪れたり、気軽に入れる」など、利用しやすさを重視する意見が多く見られる。

## 15. 美術活動発展のための意見等

問 13 市内の美術活動をさらに発展させるため、ご意見等がございましたら、ご記入ください。(自由記述)

### ①主な意見

自由記述のなかで、特に出現頻度の高い単語を掲出数とともに示す。

小中高校大学の活躍できる場、作品の発表の場を増やす	13
市展・美術展をもっとPRする、活性化、審査員の公平性の確保	14
教室・講座をふやす、工夫する	7
作品を創作できる場を作る	5

### ②その他の意見

自由記述のうち、その他の特徴的なものを示す。

- ◆ 東京隣接地（上野ではなく、千葉臨海・多摩八王子・横浜等）と競合しても、独創性存在感を主張できる美術館を目指す
- ◆ 21 時閉館、金土は 21 時閉館
- ◆ アトリアでやる前衛的・難解なテーマ性は、若年層も興味を持たない
- ◆ 年間パスポートの導入
- ◆ 空間利用方法の工夫、エンターテイメント性の発揮
- ◆ ものづくりのまちの精神をつなげる
- ◆ 旧芝園中のような施設を市のほかの施設を利用して地区ごとに増設
- ◆ 美術館専門の広報誌・各公民館の展示会情報

## 傾向・分析

- 15-① 美術家協会会員からは、学生の美術活動促進につながる、学生が活躍できる機会の拡充を望む意見が多く見られる。
- 15-② 美術家協会会員からは、現在行われている川口市美術展の充実を望む意見が多く見られる。
- 15-③ 美術家協会会員からは、学びの機会や、創作の場を望む意見が見られる。

(3) 調査対象B、C（市内在住の男女、Web調査回答者）にのみ  
行った調査

16. 川口市の美術に関する施策への意見等

問9 川口市の美術に関する施策について、ご意見等がございましたら、ご記入ください。(自由記述)

①主な意見

自由記述のなかで、特に出現頻度の高い単語を掲出数とともに示す。

交通の便がいい、利便性がある、駅近・駅周辺など	13
カフェ・お茶・レストラン	13
気軽に入れるなど	12
歴史を(も)学べる	9
SKIP シティの有効活用	9
自然や緑の多い、感じられるなど	8
独自・特徴のある、他と違うスタンス、他には類のない	8
川口ゆかり、川口在住など	7
デザイン・外観	7
グリーンセンター	6
铸物を活用するなど	5
憩い・やすらぎ・ゆったり感じられるなど	3
家族で訪れる、子どもが楽しめるなど	2
地域性を取り込んだなど	2
親しみやすさ	1
いらない・無駄	10
税金の使い道	9
負担・採算	3

②その他の意見

自由記述のうち、その他の特徴的なものを示す。

- ◆有名、話題性のある、面白さ、魅力ある展示
- ◆公民館や図書館など身近な公共施設を活用して、年間を通して展示する
- ◆あまり遠くにいけない人が、すばらしい芸術に触れる機会

**傾向・分析**

- 16-① 市民からは、「交通の利便性」や、「自然を感じられる」、「気軽に入れる」といった立地環境に関する意見が多くみられる。
- 16-② 市民からは、カフェやレストランの設置を望む意見が多くみられる。
- 16-③ 市民からは、市の他の施設（グリーンセンター・SKIP シティ・イイナパーク）を活用するという意見もみられる。
- 16-④ 美術館の整備に対する「負」の意見も見られた。

### 3. 市民意識調査結果のまとめ

主な意見や要望を美術館の整備に関する視点で整理すると、以下のようになる。

※（ ）内には、I市民意識調査の「傾向・分析」の参照先を記す。

#### (1) 美術の拠点整備

主な意見や要望
a. 回答者の半数以上が、美術の拠点整備を求めている（1-③、7-①）
b. 文化・芸術に対する市民意識の向上に効果がある（8-①）
c. 子どもの情操教育の促進に効果がある（8-②）
d. 市への財政負担が懸念されている（8-③）

#### (2) 美術館の役割やターゲット

主な意見や要望
a. 好きな作品や話題性のある展示を鑑賞するために、美術館を利用している（4-①）
b. 子どもの美術体験を求めて美術館を利用している（4-②、③）
c. 美術家協会会員は、創作や発表の場、学びの機会の充実に加えて、市内で活動する作家同士の交流を求めている（13-①、15-①）
d. 美術家協会会員は、学生の美術活動の促進に向け、学生が活躍できる場や、作品発表の場の拡充が求められている（15-①、②）

#### (3) 人気の高いテーマ・ジャンル

主な意見や要望
a. 絵画や彫刻、写真、アニメや映像などの映像メディア表現（6-①）
b. 美術家協会会員では、洋画を制作する作家が多い（11-①）
c. 美術家協会会員からは、鋳物をはじめとする川口の歴史や文化を重視した意見が多い（14-②）
d. 美術家協会会員からは、川口在住や川口にゆかりのある作家など、地域性を重視する意見が多い（14-②）

#### (4) 求められる事業活動

主な意見や要望
a. 美術館の利用目的としては作品鑑賞が多く、整備に際しては、展示内容やコレクションの充実が求められている (4-①、9-②)
b. 美術館の利用目的である、子どもの美術体験が求められている (4-②)
c. 美術家協会会員からは、作品発表など学生の活躍する機会が求められている (15-①)
d. 美術家協会会員からは、市内で活躍する作家同士の交流機会の創出が求められている (13-①)
e. 美術家協会会員からは、学びの機会や創作の場が求められている (13-①、15-③)

#### (5) 施設環境や求められる機能

主な意見や要望
a. 駅に近いなどの、交通の利便性 (5-①、9-①、14-①、16-①)
b. 利用につながる、効果的な情報発信 (5-①)
c. 美しい庭園など、作品鑑賞以外にも来館の動機付けとなる施設機能 (10-①)
d. 美術家協会会員からは、発表の場が求められている (13-①)
e. 自然を感じられる立地 (14-①)
f. 家族連れなど、誰もが気軽に立ち寄れる施設環境 (14-②、16-①)
g. カフェやレストランなどの憩いのスペース (16-①)

## II 美術活動に関するインタビュー調査

市内で美術活動に携わる個人・団体等を対象に、川口市における美術館の在り方について調査を行った。

### 1. 調査概要

調査対象および実施概要は、以下の通りである。

グループ	調査概要
A. 川口市美術家協会	日時： 2018年6月19日（火）15:00～16:00 実施場所： 川口市立アートギャラリー・アトリア 調査対象者： 川口市美術家協会会員 7名
B. 専門性の高い活動を行う個人・団体等	日時： 2018年7月17日（火）14:00～15:30 実施場所： 旧芝園中学校会議室 調査対象者： アーティスト支援団体等 5名
C. 市民向けの活動を行う団体等	日時： 2018年7月25日（水）10:00～12:00 実施場所： 青木会館5階 会議室 調査対象： 造形教室運営者、福祉施設運営者等 7名

### 2. 調査結果のまとめ

インタビュー調査で得られた主な意見は以下の通りである。

#### (1) 市内における美術活動の発展に必要な要素

美術に対する理解や参画を促進するための人材育成、美術活動を行うための環境の充実、活動を市内外にアピールする情報発信や地域連携などが望まれている。さらには、市民に対して継続的に美術体験を提供していくための十分な体制づくりも求められている。

##### ■主な意見

- 人材育成
  - ・美術活動への理解者や後継者の育成
  - ・子どもの美術体験の充実
  - ・中高生を対象とした公募展の開催
- 環境整備
  - ・自由な表現活動が行える展示空間の整備
- 情報発信
  - ・市内の文化活動に関する情報発信
- 地域連携
  - ・商店街など地域との連携
- 継続的な事業展開のための体制の構築
  - ・予算確保と学芸員の人材確保
  - ・美術館の運営支援組織等の設置
  - ・芸術文化財団の設置



## (2) 川口市にふさわしい美術館のイメージ

### a. 美術館像

近隣自治体に美術館が多数設置されている現状をふまえ、「独自性」や「川口ならではの」などを重視する意見のほか、「交流の場の拡充」など美術体験の提供にとどまらない美術館の役割に言及する意見もみられる。

#### ■主な意見

- ・近隣の美術館とは異なる独自性のある施設
- ・川口市が他にない魅力的な街であることを発信し、市民の誇りとなる施設
- ・優れた作品に触れられる施設
- ・アーティストが集い活躍できる施設
- ・市民が気軽に発表できる施設
- ・多様な人々が気軽にアートに親しむことのできる施設
- ・子どもたちがアートに親しむことのできる施設
- ・市民の交流の場となる施設

### b. 美術館で取り上げるテーマやジャンル

美術館像と同様に「川口ならではの」に着目したテーマのほか、福祉や障害者アートなどに関する意見もみられる。

#### ■主な意見

- 川口ならではの視点
  - ・ 鋳物や植木など地域特有の伝統産業の継承
  - ・ 「ものづくりのまち」を発信する取り組みや、技術の伝承
  - ・ 地域の歴史や文化の伝承
  - ・ 地域にゆかりのある作家
- 人材育成に関する視点
  - ・ 子どもの美術体験
  - ・ 子どもたちが主体的に活動する機会の提供
  - ・ 芸術家の育成や発掘につながる取り組み
  - ・ 一般利用者や外国人利用者に向けたワークショップ
- その他の視点
  - ・ アートセラピーなど福祉分野と連携した取り組み
  - ・ 市内の福祉施設から国内外に向けて発信されている障害者アート
  - ・ 外国人居住者が多い地域特性を活かし、アジアの作家によるアーティスト・イン・レジデンスの実施や、海外の作家や美術館との交流
  - ・ 多様なジャンルをまたぐ取り組み

## c. コレクション

地域にゆかりのある作家の作品のほか、アトリアの既存事業「新鋭作家展」を活かしたコレクションの形成という意見もみられる。

### ■主な意見

- ・川口にゆかりのある作家の作品
- ・市内で活動する作家の作品
- ・アトリアで発掘している新人作家の作品

## d. 事業活動

作品の収集・保存や展示公開、教育普及といった美術館の基盤となる事業とともに、地域との連携や、川口ならではの「ものづくり」を伝える取り組みといった意見もみられる。

### ■主な意見

- ・川口にゆかりのあるアーティストの作品などの収集と保存
- ・優れた作品の展示公開
- ・子どもの情操を育む美術体験の提供
- ・子どもによる展覧会の企画など、子どもが主体的に関わる事業
- ・中高生を対象とした公募展の開催
- ・若手作家の発掘や、創作の場の提供
- ・働く世代も参加しやすい創作の機会の提供
- ・市内の美術活動に関する情報発信
- ・商店街など地域との連携
- ・職人や伝統技術など、川口ならではの「ものづくり」を伝える取り組み

## e. 施設機能

作品の保存環境に配慮した展示室や、本格的な創作活動のための空間など、高度な鑑賞体験や創作体験が可能となる施設機能が求められている。

### ■主な意見

- ・優れた作品を展示できる展示空間（常設展示室や企画展示室）
- ・市民が気軽に作品発表できる施設
- ・現代アート作品の公開制作や展示ができる野外展示場
- ・収蔵庫
- ・実技講座や鑑賞講座のための講座室
- ・工具や創作のための機材などを備えた工房
- ・ワークショップ等を行うための多目的室
- ・映像上映も可能な小ホール
- ・映像作品を紹介できるミニ・シアター
- ・レストラン、売店、カフェ
- ・バリアフリーの導入
- ・人々を魅了し来館促進につなげる施設外観
- ・入りやすい雰囲気施設の
- ・仕事帰りにも入り易い開館時間の設定

### (3) アトリアとの併存のあり方

アートスペースであるアトリアの、気軽にアートに親しむ取り組みを充実させながら、川口市美術館との機能整理を望む意見がみられる。

#### ■主な意見

- ・アトリアではワークショップに特化してはどうか
- ・アトリアでは現代アートに特化してはどうか
- ・アトリアでは市民参加型の活動を中心とし、美術館では多様で優れたアートに触れる展覧会を行う
- ・アトリアは「新しい価値観に出会う場」として気軽に参加できる体験を充実させてほしい

### (4) 川口市美術館に対して連携・協力できること

子どもたちのアート体験に対するサポートや、美術館がまちとつながり地域の賑わい創出に寄与する事業への連携・協力などが挙げられた。

#### ■主な意見

- ・連携事業を行うためのアーティストや大学等の紹介（アーティスト支援団体等による意見）
- ・アートイベントの開催（アーティスト支援団体等による意見）
- ・空き屋活用などアートを活用したまちづくりの支援（ギャラリー運営者による意見）
- ・まちあるきツアーの開催（美術関係有識者）
- ・ワークショップの企画協力（造形教室運営者による意見）
- ・子どもたちによる企画提案（造形教室運営者による意見）

### (5) その他

美術館の活動を発展的に継続していくため、長期的視点に立った運営のあり方が求められている。

#### ■主な意見

- ・維持管理の経費低減を考慮して公益法人等による運営委託
- ・長期的視野に基づき学芸員等専門人材の育成とノウハウの継承が大切
- ・地域・学校・ボランティアの連携による活動を広げていくことが必要
- ・国内外の美術館・博物館との積極的な交流
- ・館の活動に関する積極的な情報発信が重要

### Ⅲ 市民ニーズのまとめ

I 美術館建設に関するアンケート調査、II 美術活動に関するインタビュー調査から得た市民ニーズを整理し、川口市における美術館に求められる要素を抽出した。

#### 1. 美術館の役割やターゲット

I 市民意識調査	II 美術活動に関するインタビュー調査
・好きな作品や話題性のある作品を観覧	・優れた作品の鑑賞
・創作や発表の場、学びの機会の充実	—
—	・美術活動への理解者や後継者の育成
・子どもの美術体験の提供	・子どもの美術体験を充実 ・子どもがアートに親しむ機会の提供
・学生が活躍できる場や、作品発表の場の拡充	—
・市内で活動する作家同士の交流創出	・アーティストが集い活躍する場の提供
—	・市民の交流の場の提供
—	・川口市が他にない魅力的な街であることを発信



Ⅲ 市民ニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞や創作、発表、学びの機会の提供による、市民の<b>美術に対する興味・関心の向上や、市民の創造力の醸成</b></li> <li>・子どもがアートに親しむ機会や、作品発表の機会の提供による、<b>川口の次代を担うひとづくり</b></li> <li>・アーティストが集い、活躍する機会を提供による、<b>市内の美術活動の活性化</b></li> <li>・交流の場の提供による、<b>市民の交流機会の創出</b></li> <li>・<b>川口市ならではの魅力の発信</b></li> </ul>

## 2. テーマ・ジャンル

I 市民意識調査	II 美術活動に関するインタビュー調査
・ 絵画や彫刻、写真、アニメや映像などの映像メディア表現	—
・ 川口の歴史や文化	・ 鋳物や植木など地域特有の伝統産業 ・ 地域の歴史や文化の伝承
・ 川口在住や川口にゆかりのある作家	・ 川口にゆかりのある作家 ・ 市内で活動する作家
—	・ アトリアで発掘している新人作家
—	・ アートセラピーなど福祉分野と連携した取り組み
—	・ 市内の福祉施設から国内外に向けて発信されている障害者アート
—	・ アジアを中心とした海外の作家や美術館との交流



III 市民ニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>絵画や彫刻、写真、アニメや映画などの映像メディア表現</b></li> <li>・ 鋳物や植木など川口ならではの<b>伝統産業を含む、歴史や文化</b></li> <li>・ 市内で活躍する作家や、アトリアで発掘してきた新人作家など、<b>川口ゆかりの作家</b></li> <li>・ 障害者アートやアジアの美術など、<b>現在の川口の特性を活かしたジャンル</b></li> </ul>

### 3. 求められる事業活動

I 市民意識調査	II 美術活動に関するインタビュー調査
・充実したコレクションの形成	・川口ゆかりの作品などの収集と保存
・展示活動	・優れた作品の展示公開
・子どもの美術体験の提供	・子どもの情操を育む美術体験 ・子どもによる展覧会企画など、子どもが主体的に関わる事業
・作品発表など学生が活躍する機会の提供	・若手作家の発掘や、創作の場の提供 ・中高生を対象とした公募展の開催
・市民のための学びの機会や創作の場の提供	・働く世代も参加しやすい創作機会の提供
・市内で活躍する作家同士の交流機会の提供	・市民の交流の場となる施設
—	・市内の美術活動に関する情報発信 ・館の活動に関する積極的な情報発信が重要
—	・商店街など地域との連携
—	・職人や伝統技術など、川口ならではの「ものづくり」を伝える取り組み



III 市民ニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・川口ゆかりの作品等の収集・保存</li> <li>・優れた作品の展示公開</li> <li>・子どもがアートに親しむための美術体験や、子どもが主体的に美術館活動への参加</li> <li>・若手作家の発掘や創作支援</li> <li>・市民を対象とした創作や学びの機会の提供</li> <li>・アーティスト同士の交流や市民の交流を創出する事業</li> <li>・市内の美術活動や館の活動に関する情報発信</li> <li>・地域との連携事業</li> <li>・川口ならではの「ものづくり」を伝える取り組み</li> </ul>

## 4. 求められる施設機能

I 市民意識調査	II 美術活動に関するインタビュー調査
—	<ul style="list-style-type: none"> <li>優れた作品を展示できる展示空間</li> <li>常設展示室や企画展示室</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の作品発表の場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民が気軽に発表できる施設機能</li> </ul>
—	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代アート作品の公開制作や展示ができる野外展示場</li> </ul>
—	<ul style="list-style-type: none"> <li>收藏庫</li> </ul>
—	<ul style="list-style-type: none"> <li>実技講座や鑑賞講座のための講座室</li> <li>工具や創作のための機材などを備えた工房</li> <li>ワークショップ等を行うための多目的室</li> <li>映像上映も可能な小ホール</li> <li>映像作品を紹介できるミニ・シアター</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>カフェやレストランなどの憩いのスペース</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レストラン、売店、カフェ</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用につながる情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の美術活動に関する情報発信</li> <li>館の活動に関する積極的な情報発信が重要</li> </ul>



III 市民ニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>高度な鑑賞体験や創造体験の提供に必要となる施設機能</li> </ul>

## 5. 求められる施設環境

I 市民意識調査	II 美術活動に関するインタビュー調査
<ul style="list-style-type: none"> <li>交通の利便性</li> </ul>	—
<ul style="list-style-type: none"> <li>自然を感じられる立地環境</li> </ul>	—
<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが気軽に立ち寄れる施設環境</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用しやすい雰囲気施設の施設</li> <li>仕事帰りにも立ち寄り易い開館時間</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>美しい庭園など、魅力的な施設環境</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来館の動機付けとなる特徴的な施設外観</li> </ul>
—	<ul style="list-style-type: none"> <li>バリアフリーの導入</li> </ul>



III 市民ニーズ
<ul style="list-style-type: none"> <li>利便性が高い立地</li> <li>来館の動機付けとなる、特徴的な施設整備</li> <li>バリアフリーの導入</li> </ul>